

第1学年 道徳（人権）学習指導案

- 1 主 題 相手を思いやる心
- 2 主題設定の理由（省略）
- 3 ねらい

相手の思いを理解し、相手のために自分のできることを進んでしようとする態度を育てる。

4 指導計画（全22時間）

（1）これまでの学習

- 生活科「ふれあいフェスティバル」・・・・・・・・・・・・・・・・ 8時間
- 学級活動「いっしょだよ」・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- 道徳「二わのことり」（県副読本）・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間

（2）現在の学習

- 道徳「ひびわれつぼ」（“あわ”人権学習ハンドブック）・・・ 2時間（本時2/2）

（3）これからの学習

- 体育科「ボールなげゲーム」・・・・・・・・・・・・・・・・ 10時間

5 本時の学習

（1）目標

水くみ人の思いやりある行動によって、ひびわれつぼの気持ちが変化したことに気づき、自分も友達のためにできることをしようとする意欲を高める。

（2）普遍的な学習のテーマ 仲間づくり

（3）展 開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">ひびわれつぼのきもちをかんがえよう</div>	<p>○ 本時の学習の方向づけをする。</p>
<p>2 ひびわれつぼの気持ちを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水をこぼしているとき ・花が咲いている理由を水くみ人から聞いたとき 	<p>○ ひびわれつぼの気持ちに共感させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の役割が十分に果たせないひびわれつぼの悲しみに共感させる。 ・水くみ人に、自分の個性を認められたことで、ひびわれつぼの気持ちが明るく変化したことを理解させる。 <p style="text-align: right;">評価①【発言・態度】</p>
<p>3 自分の生活を振り返る。</p>	<p>○ 自分の生活を振り返らせ、友達を笑顔にするには、どう行動すればよいかを考えさせる。</p> <p style="text-align: right;">評価②【発言・態度】</p>

（4）評 価

- 水くみ人の思いやりによって、ひびわれつぼの気持ちが明るく変化したことを理解することができたか。 （知識的側面）①
- 友達の気持ちを考え、友達のためにできることをしようとする意欲を高めることができたか。 （価値的・態度的側面）②